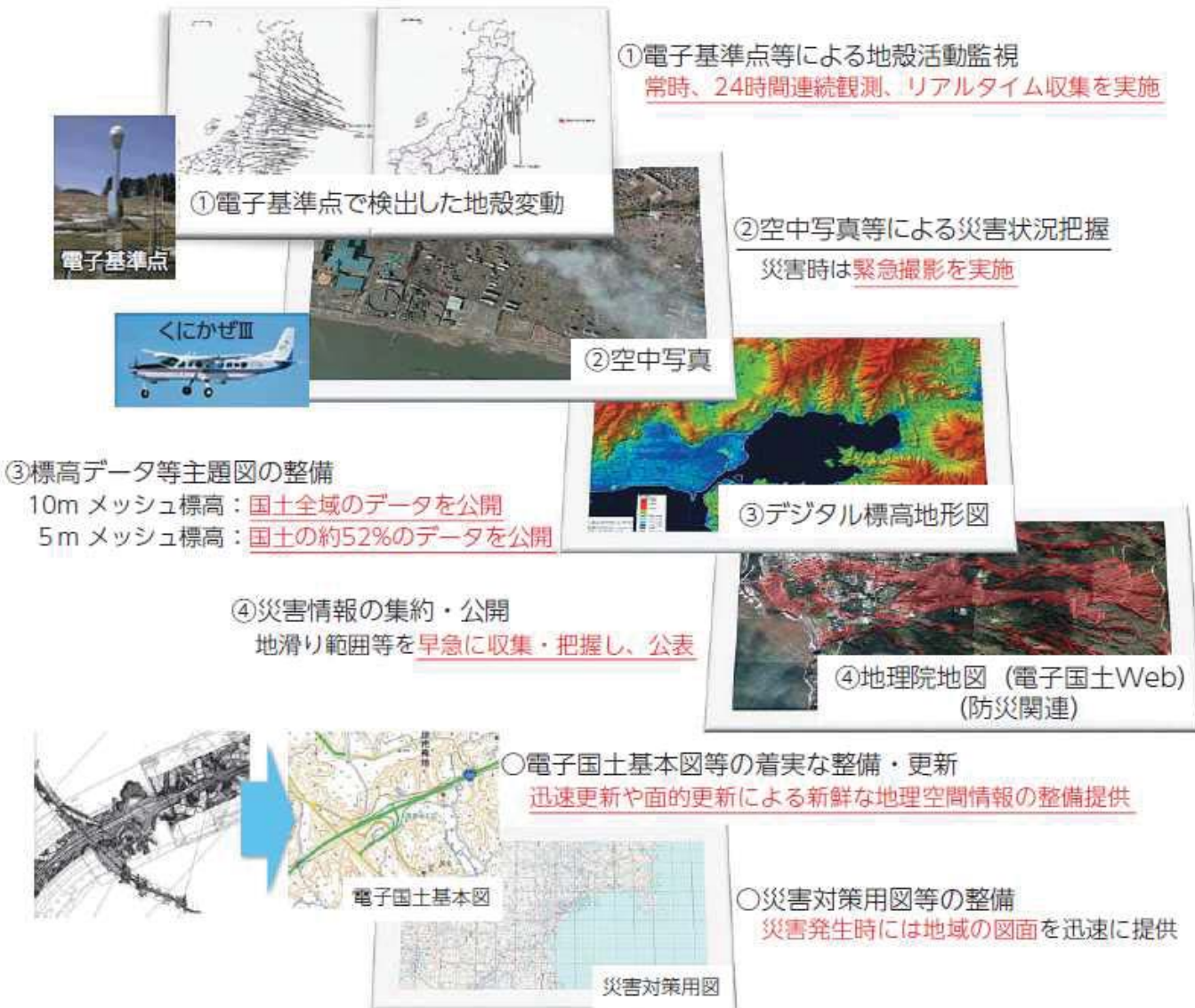


国土地理院の災害対応

国土地理院は、「災害対策基本法」に基づく「指定行政機関」です。また、**平成27年4月1日から国土地理院四国地方測量部は、「指定地方行政機関」に指定されました。**関係機関と連携を強化し、測量・地図分野の最新技術を活用した以下の防災施策を推進します。

- 1 定常的な地殻変動の監視
- 2 災害時等における地理空間情報の整備・提供
- 3 復旧・復興のための公共測量に関する指導・助言



①電子基準点等による地殻活動監視
常時、24時間連続観測、リアルタイム収集を実施

①電子基準点で検出した地殻変動

電子基準点

②空中写真等による災害状況把握
災害時は緊急撮影を実施

②空中写真

くにかぜⅢ

③標高データ等主題図の整備
10m メッシュ標高：国土全域のデータを公開
5m メッシュ標高：国土の約52%のデータを公開

③デジタル標高地形図

④災害情報の集約・公開
地滑り範囲等を早急に収集・把握し、公表

④地理院地図（電子国土Web）
（防災関連）

○電子国土基本図等の着実な整備・更新
迅速更新や面的更新による新鮮な地理空間情報の整備提供

電子国土基本図

○災害対策用図等の整備
災害発生時には地域の図面を迅速に提供

災害対策用図

災害時において測量用航空機を用いて撮影した空中写真は、関係機関の行う災害応急対応に大きく貢献し、ニーズも高いことから、航空機「くにかぜⅢ」等による撮影体制を常時確保しています。

東日本大震災の時には、これらの情報が被災地の関係機関に提供され、現地における救援活動、道路・鉄道・空港等基幹交通インフラの被災状況の把握、農地の津波被害調査、罹災証明書の発行などの資料に利用されました。

平成26年8月豪雨災害に関する国土地理院の対応 (台風第12号・第11号の大雨等)

国土地理院では、8月11日～13日の政府調査団に参加しました。また、四国地方整備局災害対策本部にリエゾンを派遣して情報収集を行い、**大雨による土砂災害で11日から一部集落が孤立していた高知県北川村について、13日に測量用航空機「くにかぜⅢ」による緊急撮影し関係機関へ空中写真を提供するとともに、地理院地図上に公開しました。**

政府調査団による現地調査



現地調査地点



浸水被害



構造物被害

徳島県の現地調査



地すべり被害



高知県の現地調査

測量用航空機「くにかぜⅢ」高知県北川村における緊急空中写真撮影



垂直写真(8月13日撮影)



地理院地図 防災関連情報を公開



斜め写真(8月13日撮影)

平成26年8月豪雨災害での国土地理院の対応 (広島土砂災害等)

国土地理院では、平成26年8月豪雨に対し、8月17日に警戒体制、20日には非常体制をとり、緊急撮影や各種の地理空間情報の提供及び公開を行いました。

8月20日に広島市に政府の現地対策本部が設置され国土地理院からも災害対応策の検討や復興支援のため、地理空間情報の専門家11名(四国地方測量部1名)を派遣し、要望に応じた地理空間情報を提供することで、復旧復興活動を支援しました。



斜め写真撮影のイメージ図

空からの斜め写真は一枚の空中写真で、被災箇所を俯瞰的、広域に捉えることができます。被災状況をいち早く把握し、関係機関に提供する事で、人命救助や二次災害防止の資料として役立ちます。



被災日(8月20日)に撮影した斜め写真



垂直写真の範囲

※図の●はHPで公開した垂直写真の撮影位置



※図は垂直写真から作成した正射画像

垂直写真や正射画像は正確に被災地の状況を把握の把握や復興計画等にご利用できます。

撮影した垂直写真の範囲(HP)と作成した正射画像



拡大図



被災状況をわかりやすくするために作成したもので、ひと目で被災箇所が分かり、応急活動に有意義な資料となります。

撮影した結果を基に被災箇所を抽出した判読図

国土地理院ホームページによる公開

これらの防災地理空間情報は、現地の被災状況を心配されている国民の皆様への直接の情報提供、及び関係機関が行う今後の対応等についての検討等に対する重要な情報を提供する目的で行っています。

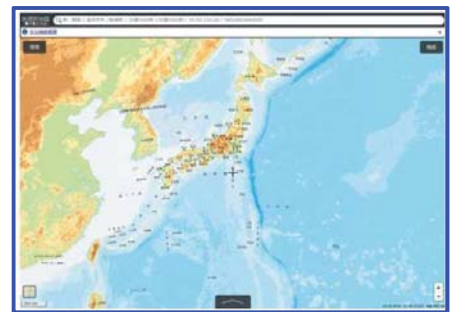


地理院地図を利用した被災状況の「見える化」

災害情報を地理院地図(電子国土Web)を用いて公開しています。地理院地図を利用することで、様々な地理空間情報を重ねて表示する事で「見える化」を図ることで、被災状況をわかりやすく確認する事ができます。これらの情報は、出力し現地対策本部でも利用されました。

地理院地図の主な機能

「地理院地図(電子国土Web)」は、国土地理院が提供するウェブ地図です。地形図、災害情報、標高値など様々な地理空間情報を、重ね合わせ表示したり共有したりすることができます。
また、災害時には被災状況に関する地理空間情報を緊急的に発信する等、情報共有の基盤としても利用されています。



現在位置表示機能(地理院地図)



地名、住所、緯度経度、UTMポイントの検索は、画面上部の検索バーから行えます。

①～③スマートフォンのGPS機能を利用した現在位置表示が可能です。

<http://maps.gsi.go.jp/>

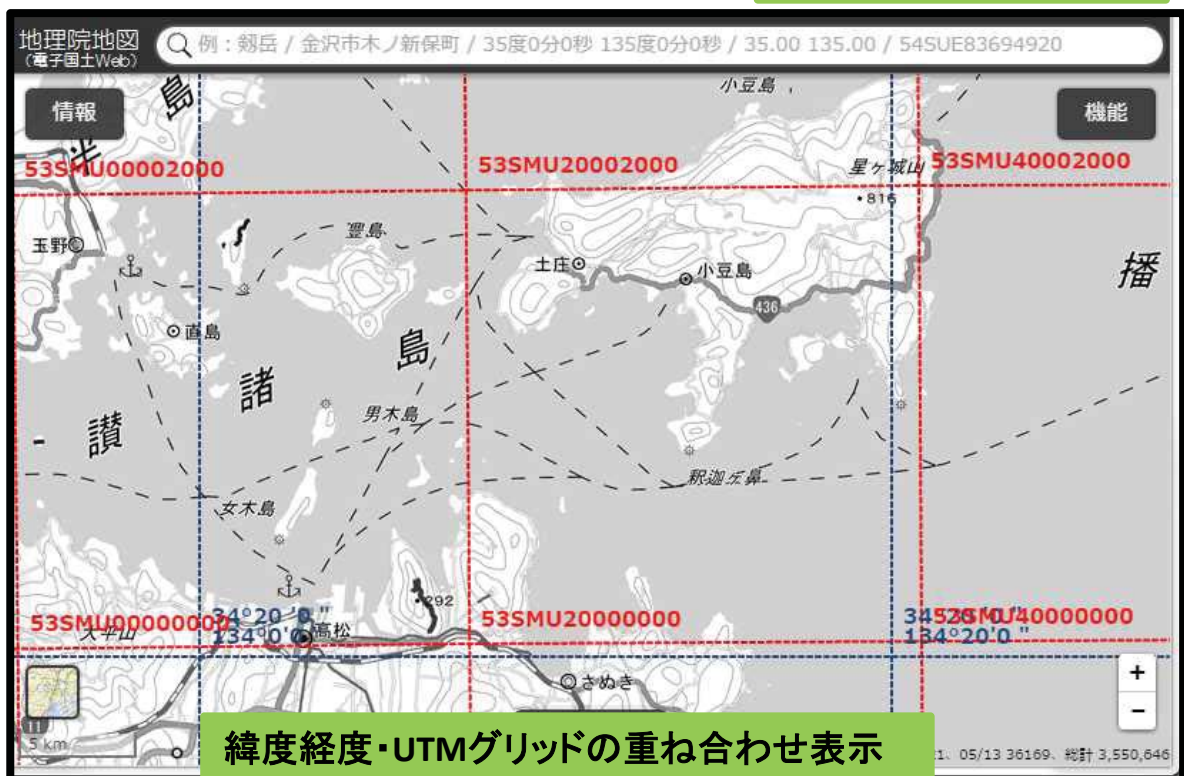


⑤ 住所: 香川県高松市サンポート
(付近の住所。正確な所属を示すとは限らない。)
34度21分8.39秒 134度2分44.10秒
34.352330,134.045584 ズーム: 15
UTMポイント: 53SMU12230164
標高: 3.3m (5m (レーザー)) 表示値の説明

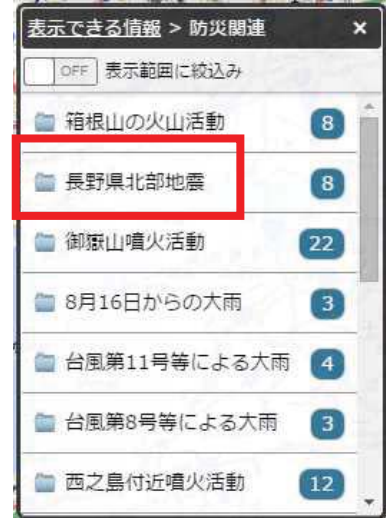
現在位置の地形、住所、緯度経度、UTMポイント、標高等を確認することが出来ます。

緯度経度・UTMグリッドの表示(地理院地図)

機能→表示で、緯度経度及びUTMグリッド、磁北線表示が可能です。



防災関連情報の発信



震度分布

活断層図

地殻変動
および
被災後の
空中写真

被災前の
空中写真

地理院地図

精密標高データ

地理院地図上に、各種地理空間情報と重ね合わせることで一元的に情報を見ることがきます。